

授業科目の区分	専門基礎分野《人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進》			
授業科目	看護実践の基礎			
開講年次・学期	1年次・後期			
単位（時間）	1（30）			
担当講師	《専任教員》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	健康障害を持つ対象者の看護においては、健康障害に伴う症状や障害が日常生活に及ぼす影響が少なくなく、検査・治療に携わることから看護者が対象者の身体状態を把握することの重要性は非常に高い。臨床で出会う対象者になるべく近い設定で事例患者に出会い、生命力の消耗や日常生活力の低下につながっている症状に着目し、身体機能の理解に基づきながら身体状態を考察したり、治療の必要性について明らかにすることを通して、身体状態を把握していく過程とその実際について学ぶ。そして、それらを少人数グループで解決していくことで、個々が主体的・創造的な学習態度・学習習慣を獲得することを目指す。			
到達目標	1. 健康障害のある対象者の病理学的変化に基づき症状のメカニズムや治療の目的について明らかにし、対象者の身体的な健康上の問題について説明する。 2. 健康上の問題や課題を解決するために必要な学習態度・学習習慣を獲得する。			
授業計画	回	内容と方法	事前学習	事後学習
	1（2h）	講義・演習 GW1 回目 「ガイダンス」 「健康障害のある対象者に出会う」	自己学習課題提出	学びシート提出
	2（2h）	演習 GW2 回目	・各 GW での学習課題に基づく学習 自己学習課題提出	学びシート提出
	3（2h）	演習 GW3 回目	同上 自己学習課題提出	学びシート提出
	4（2h）	講義・演習 全体ワーク 「病態関連図の描き方」	同上 自己学習課題提出	学びシート提出
	5（2h）	演習 全体ワーク 「対象者の病態関連図を描く」	自己学習の目標・内容を明確にする	学びシート提出
	6（2h）	演習 GW4 回目 「治療の目的について考える」	・各 GW での学習課題に基づく学習 自己学習課題提出	学びシート提出
	7（2h）	演習 GW5 回目	同上 自己学習課題提出	学びシート提出
	8（2h）	演習 GW6 回目 「入院翌日の身体状態を捉えるための計画を立てる」	フィジカルアセスメント計画書提出	学びシート提出
	9（2h）	演習 GW7 回目 「入院翌日の身体状態を捉えるための具体的な準備」	・グループ毎でフィジカルアセスメントの計画書を作成する	学びシート提出
	10（3h）	演習 発表	発表準備	学びシート提出
	11（2h）	演習 GW8 回目 「対象者の要望が身体機能に及ぼす影響について考える」	自己学習の目標・内容を明確にする 関連図提出	学びシート提出
	12（2h）	演習 全体ワーク 発表準備	自己学習の目標・内容を明確にする。	学びシート提出
	13（2h）	演習 発表「発表を通じて得られた新たな視点・学習項目について学習する」	自己学習課題（発表資料）提出	学びシート提出
	14（2h）	演習 GW9 回目 成長確認・共有	「成長エントリーシート」 「成長報告書」の記載。	学びシート提出
	15（1h）	筆記試験		全学習過程資料提出
必携文献	1) 佐藤達夫監修：新版 からだの地図帳，講談社，2013. 2) 山口和克監修：新版 病気の地図帳，講談社，2000. 3) 坂井健雄著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学，医学書院，2022. 4) 土居健太郎著：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [2] 病態生理学，医学書院，2023.			

	5) 吉田俊子著：系統看護学講座 専門基礎分野 成人看護学 [3] 循環器, 医学書院 2022.														
参考文献	1) 高木永子監修：看護過程に沿った対症看護 第5版 病態生理と看護のポイント, 学研, 2018. 2) 奈良信雄編：系統看護学講座 別巻 臨床検査, 医学書院, 2023. 3) 三輪一智他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [2] 生化学, 医学書院, 2019. 4) 渡辺照男編：カラーで学べる病理学第4版, ヌーヴェルヒロカワ, 2019.														
成績評価方法	参加姿勢やレポート提出等を含むプロジェクト学習評価 (80 点) と筆記試験 (20 点) の合計点が 6 割以上で合格とする。														
備考															
出席自己 チェック欄 30h	2	4	6	8	10	12	14	16	18	21	23	25	27	29	30 試験